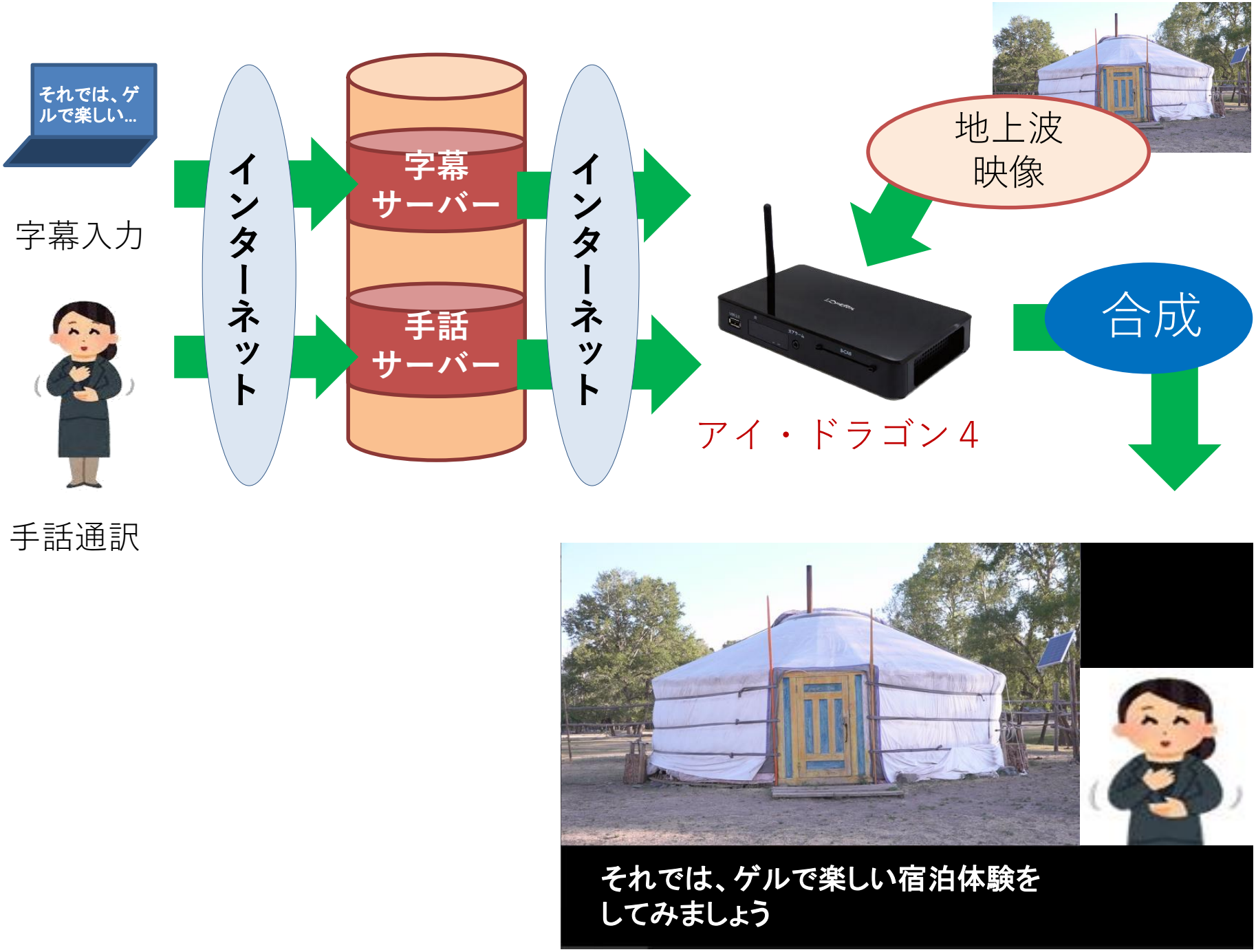
海外での「アイ・ドラゴン4」を用いた情報保障への期待（モンゴル）

認定NPO法人　障害者放送通信機構
重田　千輝

アイ・ドラゴン４

•IP通信を活用し、TV番組画面と手話通訳・字幕画面を合成する機能を持つ。


それでは、ゲルで楽しい…
字幕入力
手話通訳
インターネット
字幕サーバー
手話サーバー
インターネット
地上波映像
アイ・ドラゴン４
合成
それでは、ゲルで楽しい宿泊体験をしてみましょう

モンゴル訪問

期間:

2018年6月12日～17日

目的:

モンゴルにおける、「アイ・ドラゴン４」を活用した情報アクセシビリティの向上に関する説明・協議

訪問先:

モンゴル国営放送、JICA事務所、

行政省庁（通信情報技術庁）

モンゴル訪問

訪問先：

ろう学校、ろう協会、ろう集会、等

⇒ろう者たちの「生の声」

モンゴルの現状

- ろう学校

モンゴルの現状

- モンゴル全土にろう学校は一つだけ

モンゴルの現状

- ろう学校寄宿舎

モンゴルの現状

- ろう運動の停滞

「アイ・ドラゴン4」の期待

- 放送局にとっても、専用の機器等揃える必要が無いので、負担減。
- 聴覚障害者は「受信料」を毎月支払っているものの、還元が少ない状態。

「もし、アイ・ドラゴン4があれば…」

・情報量増加

・リテラシー向上

・運動の前進

→ 聴覚障害者の更なる社会参画